

ACCESS 会場に駐車スペースはありません。ぶれすぼ胎内駐車場をご利用ください。路上駐車は厳禁です。



●**会場付近には駐車スペースはありません。路上駐車は禁止です。**
ぶれすぼ胎内の駐車場をご利用ください。
※雨天の場合も同様にぶれすぼ胎内の駐車場をご利用ください。
【午後1時～午後8時まで】
ぶれすぼ胎内から会場まではシャトルバスがピストン輸送します。(無料)

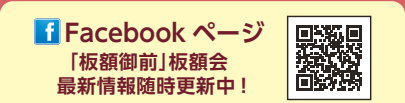
ご注意

- 野外イベントですので、服装に充分注意してください。
- 貴重品等の所持品につきましては、盗難や破損事故等の責任は一切負いませんので、各自で管理をお願いいたします。
- 緊急事態が生じた場合は、お近くのスタッフにお声掛けください。**会場が混乱するため、ご自分で110番・119番通報はしないでください。**
- 飲食は可能ですが、ゴミはお持ち帰りください。
- 歴史館の中と、歴史の広場の脇に、トイレと手洗い場があります。
- 会場内では、運営スタッフや取材メディアによる写真や動画の撮影をします。お客様が映り込む可能性がございます。あらかじめご承知おきください。

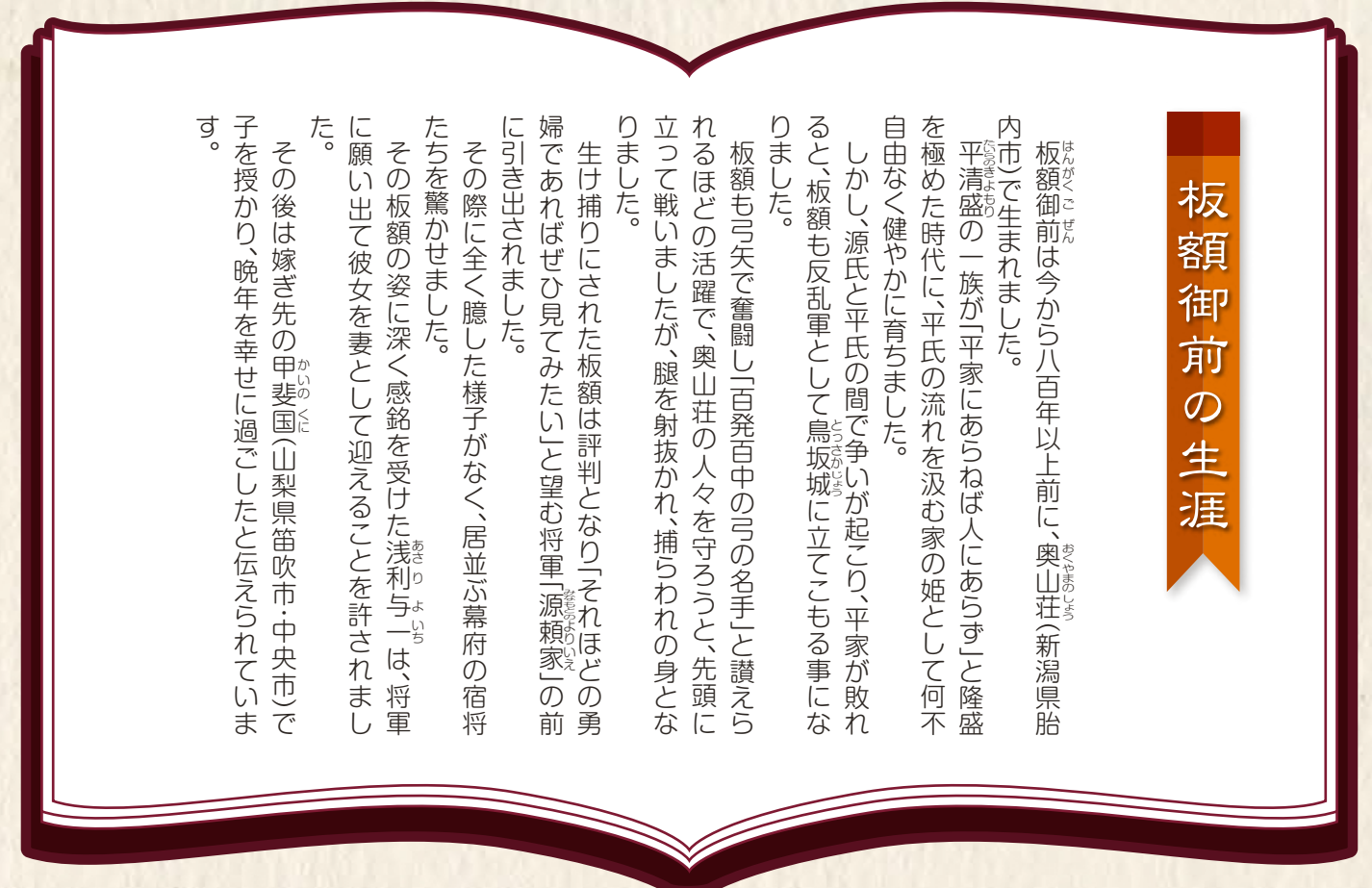
主催:胎内市教育委員会 共催:板額会
 <お問合せ先> 胎内市生涯学習課 文化・文化財係 ☎0254-47-3409
 〒959-2807 新潟県胎内市黒川1410 FAX 0254-47-2751 E-mail: bunnkazai@city.tainai.lg.jp



主催:胎内市教育委員会 共催:板額会
 お問合せ先:胎内市生涯学習課 文化・文化財係
 〒959-2807 新潟県胎内市黒川1410 TEL 0254-47-3409 FAX 0254-47-2751
 E-mail: bunnkazai@city.tainai.lg.jp



令和6年度 文化庁
 地域の特色ある
 埋蔵文化財活用事業



板額御前の生涯

板額御前は今から八百年以上前に、奥山荘(新潟県胎内市)で生まれました。
 平清盛の一族が「平家」にあらねば人にならず」と隆盛を極めた時代に、平氏の流れを汲む家の姫として何不自由なく健やかに育ちました。
 しかし、源氏と平氏の間で争いが起これり、平家が敗れると、板額も反乱軍として鳥坂城に立てこもる事になりました。
 板額も「矢で奮闘し」「百発百中の弓の名手」と讃えられるほどの活躍で、奥山荘の人々を守ろうと、先頭に立ちて戦いましたが、腿を射抜かれ、捕らわれの身となりました。
 生け捕りにされた板額は評判となり「それほどの勇婦であればぜひ見てみたい」と望む将軍「源頼朝」の前に引き出されました。
 その際に全く臆した様子がなく、居並ぶ幕府の宿将たちを驚かせました。
 その板額の姿に深く感銘を受けた浅利与一は、将軍に願ひ出て彼女を妻として迎えることを許されました。
 その後は嫁ぎ先の甲斐国(山梨県笛吹市・中央市)で子を授かり、晩年を幸せに過ごしたと伝えられています。



板額御前が生まれ育った地「奥山荘」は現在の新潟県胎内市を拠点に「城氏」という大豪族によって開発された荘園です。この城一族の支配は、山形県から、会津地方にまで及び、北陸の中心地として大変栄えていました。
 板額御前奮戦の地「鳥坂城」は、胎内市で「日本一小さな山脈」として知られる櫛形山脈の白鳥山に、砦の跡地が残されています。

夫の弓の名手「浅利与一」の出会い、鎌倉の幕府御所でした。「女性の身で戦場の前線に立ち、弓を放つては百発百中で絶世の美女と称えられた。自らも敵の矢に傷つき、捕らえられ、時の最高権力者の前に引き出され、敵方の有力武将の求婚を受けた。」これは物語や伝承の類ではなく、鎌倉幕府により編纂された公式の歴史書「吉妻鏡」に記されたものです。
 しかし、敗者の族であることから、不名誉な説が流布されるなど、近年まで歴史の表舞台に上がる機会に恵まれませんでした。

板額御前ゆかりの史跡や墓所が遺る山梨県笛吹市と胎内市は友好都市の盟約で結ばれています。また、浅利与一のふるさと山梨県中央市で開催される「中央市ふるさと祭り」には「板額会」がゲスト参加し、「板額の宴」には中央市舞踊部「板額会」をお迎えし親交を深めてきました。